（1990年７月13日 第三種郵便物認可）

自治労きょうと

毎月１日、15日発行

8/1・15
2024
第882号

発行所・自治労京都府本部・〒604－0867 京都市中京区丸太町通烏丸西入北側N・H・Kビル２F
TEL.075－252－5932・FAX.075－231－4918　発行人・岡本哲也　編集人・森本尚秀
定価　一部10円　本紙の購読料は組合費に含まれています。

ご意見をお寄せください

自治労京都府本部では、組合員のみなさんのご意見を募集しています。組合のこと、機関紙のことなど、たくさんのご意見をお待ちしています。
TEL.075-252-5932　FAX.075-231-4918
E-mail : jichiro@jichiro-kyoto.gr.jp
http : //www.jichiro-kyoto.gr.jp/

2024人勧期闘争・中央行動

具体的回答なく再交渉へ

公務員連絡会は7月24日、全国から2000人の仲間を結集し、人勧期中央行動を実施。京都からは5人が参加した。13時30分から日比谷野外音楽堂での中央集会、霞ヶ関を一周するデモ行進と人事院前での交渉支援行動を行った。その後、音楽堂に再結集し、人事院交渉の報告集会を行い、要求実現を求めて最後までたたかい抜く決意を固めた。

日比谷野外音楽堂での中央集会のあと、人事院前交渉支援行動と霞ヶ関一周のデモ行進を行い、「公務員の賃金を引き上げろ」「長時間労働を是正しろ」「ワークライフバランスを確保しろ」「非常勤職員の待遇を改善しろ」などと力強くシュプレヒコールを繰り返した。

その後、日比谷野外音楽堂に再結集し、総括集会で人事院局長交渉の報告を受けた。森永事務局長は交渉の概要を報告した上で「本日の交渉で、給与局長に対し、月例給の改定について、われわれの要求に沿って人事院として明確にスタンスを示すべきことを再三にわたって追及したが、これまでの給与改定時の考え方を繰り返すにとどまったことは、極めて残念なことである。また、『社会と公務の変化に応じた給与制度の整備』についても、組合員の期待と不安に真摯に向き合い、今回の見直しによって生ずる様々な課題に対する処方箋を示すよう求めたが、こちらも今日段階では明確にはなっていない。このことから、給与局長に対しては、再度の交渉を設定するとともに、われわれが納得できる前向きな回答を行うことを強く求めて交渉を終えた。

▲すべての職員の給与引き上げに向け、多くの仲間が日比谷野外音楽堂に集まった

▲霞が関をデモ行進

勧告については、本日の交渉を踏まえ、公務員連絡会としては、8月5日の週に行われることを想定すれば、勧告まで約2週間という最終盤の正念場を迎えることになる。その上で、『昨年を上回る、全職員、全級・全号俸の引き上げ勧告』という結果を追及すること、『社会と公務の変化に応じた給与制度の整備』については、多岐にわたる項目の中で、個々人にとっての影響をトータルで見たときに、プラスになる人、マイナスになる人が結果として生ずることから、実施にあたっては一定の経過措置等を設けさせることを出口に見据えて、限られた時間ではあるが、交渉協議を継続していく。今回の勧告内容が、一人でも多くの方に理解いただける『結果』が得られるよう、最後まで取り組む」と再交渉に向けた決意を訴えた。

人事院勧告は、例年と概ね同様の日程で作業が進められている。

仲間との交流を

新入組合員歓迎集会を開催

府本部は6月16日、ホテルグランヴィア京都で新入組合員歓迎集会を開催。10単組48人が参加した。

主催者を代表して岡本執行委員長があいさつをした後、増永書記長から「自治労とは」と題して講演をおこなった。労働組合の必要性や賃金アップ、手当・休暇、福利厚生・自主福祉など、運動によって勝ち取った成果を説明し、助け合いの精神から繋がり、団結することの大切さなどを参加者に伝えた。

続いて自治労共済の島田さんから「ライフプランとどうろう共済」について説明した。保険と共済の違いや保障の備え方、若いうちから加入することのメリットなどの話に参加者は聞き入った。

交流会では、青年部が企画した「絵描き伝言ゲーム」を行い、テーブル毎の5人一チームで対戦。5人のうち4人が伝言者となり絵を描き、最後の1人が4人目の絵を見て回答した。スクリーンに映された絵を見て回答し、正解すると会場は大いに盛り上がった。

▲絵を描く参加者

乾杯の発声で佐野青年部長は「数年前に私もこの集会に参加したがその時のグループとは今でも交流がある。みなさんもこの機会に仲間となって交流してほしい」とあいさつした。新入組合員はゲームや食事を通じて交流を楽しんでいた。

自治労組織内・参議院議員
岸まきこ
ぜひ登録を！
YouTube きしまきちゃんねる
LINE 公式アカウント

双思交

先日、東海道新幹線が事故により終日運休となった。線路の保全車同士の衝突・脱線が原因▼その日は、翌日朝一番からの東京での会議に出席するため、午後3時の新幹線で京都から東京に向かうはずだった。「午前中には復旧するだろう」と楽観的に考えていたら、正午ごろ「本日中は復旧のめどが立たない」との一報が▼取り急ぎ、東海道新幹線を使わずに東京へ向かう方法を調べた。在来線や私鉄を乗り継げば、何とか今日中に東京には辿り着けそうだ。ひとまず京都駅から米原行きの電車に乗った▼色々調べていると、行き方の選択肢は2つあった。①在来線で米原から大垣方面へ向かい6回乗り継いで東京着。②米原から敦賀～金沢経由の北陸新幹線で東京着▼所要時間や移動の質を総合的に考え②の手段を選んだ。その結果、金沢駅で1時間半の待ち時間があり、新しくなった金沢駅を見て回ることができたし、はじめて北陸新幹線に乗ることもできた▼東京に着いたのは午後10時前。東海道新幹線のありがたみを実感した1日となった。（M）

視覚障害その他の理由で活字のままでこの本を利用出来ない人のために、営利を目的とする場合を除き「録音図書」「点字図書」「拡大写本」等の製作をすることを認めます。その際は著作権者、または、出版社まで御連絡ください。

おトクなじちろう共済を学習

府本部臨職評

バスツアーで学習会

府本部臨職評は7月6日、2024年度学習会として神鍋高原へのバスツアーを行った。梅雨の晴れ間で好天に恵まれ、4単組37名の参加で京都駅を出発。今井議長より「勤勉手当が支給され処遇も一定改善されたが、まだまだ会計年度任用職員を取り巻く課題は多い。これからも力を合わせて取り組みを進めよう」とあいさつした。

続いて全労済自治労共済府支部の久米事務局長より、「じちろう共済とは」と題した講演を聞いた。共済の成り立ちから保障の考え方、各種共済の特長やおすすめのポイントなどクイズ形式でわかりやすく解説。中には配偶者の親が亡くなった時に支払われる慶弔制度を知らなかった組合員もおり、単組での周知徹底が必要だと感じる場面もあった。

昼食には神鍋高原にある食事処で郷土料理をいただき、近くにある八反の滝で涼を取った。帰りの道の駅では農産物や但馬牛などの買い物や、車中でビンゴ大会をして楽しい1日を過ごした。他単組の人達と交流し吸収しあうことができ、今後の活動に活かしたい。

大切な水を未来へ

公企評水週間で施設見学

府本部公企評は、7月28日、自治労水週間の取り組みとして施設見学学習会を開催。4単組から16人が参加した。

自治労では8月1日の水の日にあわせて「水週間」と定め、健全な水循環の確立をめざして各県で取り組みを行っている。今回は、水と生きる企業の自然環境の保全・再生を図る活動を学習するため、サントリー京都ビール工場を見学。

美味しいビールに欠かせない天然水を育むためには森のふかふかの土が必要だということで、100年先の未来を見据えた森林整備を行っていることなどを学んだ。

夏休み中ということで家族の参加もあり、水の大切さを考えるきっかけとなった。

水週間塗り絵募集中

公企評は8月1日の「水の日」にちなんで「第40回水週間」の取り組みを行う。恒例の塗り絵コンクールの今年のテーマは、「水の奏で～忘れがちな宝物」だ。子どもから大人まで水環境の保全と健全な水循環の意味を理解していただき、多数の応募をお願いしたい。

【内容】①子どもの部・12歳以下、②大人の部・13歳以上の2種類。

【応募方法】第40回水週間のウェブページから原本をプリントアウトして塗り絵を作成。必ず応募用紙を添えて府本部まで郵便等で送付をお願いしたい。

【締切】2024年8月23日（金）府本部必着

https://www.jichiro.gr.jp/mizu/40th/

言いにくい気持ちを伝えるには

府本部女性部

七夕交流会を開催

府本部女性部は7月7日、京都テルサで第34回七夕交流会を開催。9単組23人が参加した。

はじめに福山哲郎参議院議員より国会報告を受けた。中でも審議中の「共同親権」導入の民法改正について、当事者の立場を分かりやすく説明し、DVや虐待で単独親権となっている場合の課題など様々な懸念点を訴えた。普段聞く機会がない審議中の話で非常に興味深い内容だった。

次に株式会社アイシーエルの本多真理子さんより「断る！頼む！謝る！言いにくい気持ちを伝える『アサーティブコミュニケーション』」と題した講演を受けた。アサーティブコミュニケーションとは、自分も相手も尊重しながら適切な方法で自己表現を行うことで、相手と対等な関係で向き合い、率直なコミュニケーションをはかるための手法を学んだ。

コミュニケーションスキルは実践し何度も練習することで会得できる。コミュニケーションの取り方を工夫することで仕事や家族などあらゆる人間関係のストレスの軽減ができることもわかり、普段なかなか意識することのない自分の認知行動を客観的に知り、改善の方法を教えてもらう貴重な機会となった。

ストレスとうまく付き合って

府本部町村評2024学習会

府本部町村評は7月13日、京都テルサで「2024学習会」を開催。4単組12人が参加した。

冒頭、河島理絵議長は「ストレスは現代社会から切り離せないもので、ストレスにより心身に支障をきたして休職している職員も多い。本日は、ストレスとうまく付き合う方法を学び日頃の職務に活かしてほしい」とあいさつした。

学習会では、慶愛学院産業カウンセラーの武田由利子さんを講師に迎え、「ストレスとうまく付き合う方法」と題した講演を受けた。講演では、人を悩ますストレスの3大要素（仕事の質・仕事の量・人間関係）を踏まえ、参加者が2人1組となって、①名前・所属、②心の元気度、③一言（今の職場での気持ち）を話し合い、その後、ワークショップ（職場におけるストレスレベルとパフォーマンスとの関係等）を行った。

自分のストレス度合いの程度に気づくとともに、物事の捉え方は一人ひとり違うことや、ストレスの増加に伴う心身状態の変化と仕事への適応力が低下することなどについて学習した。ストレスに対処する方法として、①呼吸法、②発散、③認知や思考の変換が有効な方法だと学んだ。

2024年4月リニューアル！
もっと安心の保障に！
おかげさまで70周年
新 住まいる共済
火災共済・自然災害共済
風水害等給付金付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

こくみん共済 coop では、住まいる共済70周年を機に、みんなで無保障者をなくす活動に取り組んでいます。
見積もりを依頼いただくと、被災地応援の社会貢献にもつながります。この機会にぜひお見積もりを！

みんなで無保障者をなくそう
見積もり依頼をいただいた方全員
見積書は、もしもの100 のチラシとともに 新住まいる共済クリアファイル へ入れてお渡しします。

防災にまつわる100のトピックスをまとめました。

みんなで被災地応援プロジェクト
当会では、住まいる共済のお見積もり1件につき100円を被災地で復旧支援活動を行うボランティア（支援）団体に寄付する取り組みをスタートしました。
※寄付は、当会が自主的に実施するものであり、お見積もりいただいた方にご負担いただくものではございません。

こくみん共済 coop NEWS
6524B002

公式キャラクター ピットくん

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地（先）の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

※詳しくは右記まで　こくみん共済COOP自治労共済推進本部京都府支部　TEL:075-252-5937